後期実施計画（令和３年度～令和７年度）　施策評価シート

１．基本情報

基本目標	3	誰もが安心・安全、快適に暮らせるまちづくり	担当部	消防本部
基本施策	4	暮らしを守る消防体制づくりの推進		
単位施策名称	2	消防体制の充実・強化		
施策の方向性	●住民の安心安全なまちを守るために、消防団が地域防火の中核として重要な役割を果たすよう、防災力の充実・強化を図ります。 ●消防施設設備の計画的な整備を図り、消防・防災力の充実・強化を図ります。			

２．施策目標（施策指標）

No.	目標指標	単位	区分	計画策定時の状況	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
1	消防団訓練活動回数	回	目標値		18	18	18	18	18
			実績値	16	19	18	21	26	19
			達成状況		達成	達成	達成	達成	達成
2			目標値						
			実績値						
			達成状況						
3			目標値						
			実績値						
			達成状況						

３．評価と対応方針（各部評価）

・分析

（施策目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）

R3	目標は達成しています。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から訓練の開催方法の見直しを図ります。
R4	目標は達成しています。コロナ禍で感染拡大防止の中、訓練の開催方法を調整して実施しました。
R5	コロナ禍の影響も薄くなり、従前の計画に基づき訓練の実施に努めた結果、目標を達成できました。
R6	目標は達成しています。天候に左右されることはありましたが積極的に訓練に取り組みました。
R7	計画したスケジュールに基づき各種訓練に取り組み、目標を達成することができました。

・評価及び対応方針

R3	
R4	
R5	引き続き、消防体制の充実・強化を図ります。
R6	
R7	

【参考】施策の推進に要したコスト（事務事業）　（単位：千円）

No.	事業名称	R3	R4	R5	R6	R7	計
1	消防自動車等購入事業	38,475	0	0	0	0	38,475
2	初期消火強化事業	1,040	1,016	855	771	671	4,353
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
合計		39,515	1,016	855	771	671	42,828

後期実施計画（令和３年度～令和７年度）　事務事業評価シート

１．基本情報

総合戦略	

事務事業の名称	消防自動車等購入事業	事業番号	342101
担当部署名	消防本部　　警防課		
政策体系			
基本目標	3 誰もが安心・安全、快適に暮らせるまちづくり		
基本施策	4 暮らしを守る消防体制づくりの推進		
単位施策	2 消防体制の充実・強化		

２．活動実績

年度	活動実績
R3	○ 高規格救急車1台の更新を行いました。
R4	○ 当該年度の実績なし
R5	○ 当該年度の実績なし
R6	○ 当該年度の実績なし
R7	○ はしご付消防自動車１台の更新について、目標達成に至りませんでした。

３．事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
①	事業進捗率（高規格救急車購入）	%	目標値	100	－	－	－	－
			実績値	100				
			達成状況	達成				
②	事業進捗率（はしご付消防自動車購入）	%	目標値	－	－	－	－	100
			実績値					－
			達成状況					未達成
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法		車両更新が目的のため、事業進捗率を指標としました。						

４．コスト情報（決算）

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
R3	38,475	0	0	38,300	0	175
R4	0	0	0	0	0	0
R5	0	0	0	0	0	0
R6	0	0	0	0	0	0
R7	0	0	0	0	0	0
合計	38,475	0	0	38,300	0	175

5．評価と対応方針（各課評価）

・分析

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）

R3	令和3年度の目標は、計画どおり達成しました。
R4	－
R5	－
R6	－
R7	はしご付消防自動車のシャシ部分が、半導体不足や道路運送車両の保安基準法規制の一部改正等により調達が遅れ艤装への着手ができなかったため、年度内の更新が間に合いませんでした。

・評価及び対応方針

R3	引き続き、消防体制の充実・強化に努めます。
R4	－
R5	－
R6	－
R7	令和8年度に予算繰り越しを行い、事業を継続します。 引き続き、受注事業者に進捗確認を行いながら早期更新に努めます。

6．評価と対応方針（各部評価）

・分析

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）

R3	目標は達成しています。救急件数の増加に伴い、救急車両の使用時間・走行距離ともに著しく増加しています。過去の経過年数を基準とした車両更新に捉われることなく使用状況、現状車両の状態を総合的に判断するとともに、カーボンニュートラルにも考慮して計画的に車両更新を図ります。
R4	－
R5	－
R6	－
R7	目標達成に至っていません。 令和8年度に予算繰り越しを行い、早期更新に努めます。

・評価及び対応方針

R3	計画的に車両更新を行い、消防体制の充実・強化を図ります。
R4	－
R5	－
R6	－
R7	早期更新に努め、消防体制の充実・強化を図ります。

後期実施計画（令和３年度～令和７年度）　事務事業評価シート

１．基本情報

総合戦略

事務事業の名称	初期消火強化事業	事業番号	342102
担当部署名	消防本部　　警防課		
政策体系			
基本目標	3 誰もが安心・安全、快適に暮らせるまちづくり		
基本施策	4 暮らしを守る消防体制づくりの推進		
単位施策	2 消防体制の充実・強化		

２．活動実績

年度	活動実績
R3	○ 初期消火器具ボックス15個の更新を行いました。 ＜1式当たりの内容＞ 初期消火器具ボックス（本体）1台 初期消火用ホース3本（口径40㎜×長さ20m） 筒先（アルミ製ノズル）1本 消火栓開閉器1本 スタンドパイプ1本 異径媒介金具1個
R4	○ 地域住民でも使いやすい口径の小さい消防ホースやノズル等の初期消火器具を保管する初期消火用器具ボックス一式を、当初の計画どおり15個更新しました。
R5	○ 地域住民でも使いやすい口径の小さい消防ホースやノズル等の初期消火器具を保管する初期消火用器具ボックス一式を、当初の計画どおり15個更新しました。
R6	○ 地域住民でも使いやすい口径の小さい消防ホースやノズル等の初期消火器具を保管する初期消火用器具ボックス一式を、当初の計画どおり15個更新しました。
R7	○ 地域住民でも使いやすい口径の小さい消防ホースやノズル等の初期消火器具を保管する初期消火用器具ボックス一式を、当初の計画どおり14個更新しました。

３．事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
①	地域に扱いやすい初期消火器具の設置率	%	目標値	45.5	59.1	72.7	86.4	100
			実績値	45.5	59.1	72.7	86.4	100
			達成状況	達成	達成	達成	達成	達成
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法	取扱いやすいホースを設置することで火災の被害軽減を図ることが目的のため、設置率を指標としました。							

４．コスト情報（決算）

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
R3	1,040	0	0	0	0	1,040
R4	1,016	0	0	0	0	1,016
R5	855	0	0	0	0	855
R6	771	0	0	0	0	771
R7	671	0	0	0	0	671
合計	4,353	0	0	0	0	4,353

5．評価と対応方針（各課評価）

・分析

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
R3	令和3年度の目標は、計画どおり達成しました。
R4	当初の計画どおり目標を達成しました。
R5	当初の計画どおり目標を達成しました。
R6	当初の計画どおり目標を達成しました。
R7	当初の計画どおり目標を達成しました。

・評価及び対応方針

R3	引き続き実施計画どおり進め、設置率100%を目指します。
R4	引き続き実施計画どおり進め、設置率100%にします。
R5	地域の防火力の向上のため、今後も更新整備していきます。
R6	地域の防火力の向上のため、今後も更新整備していきます。
R7	初期消火器具の更新が全て完了しました。 引き続き初期消火器具の維持管理を行いながら、地域住民へ火災時の活用について普及啓発を行い、地域の防火力の向上、消防体制の充実・強化を図ります。

6．評価と対応方針（各部評価）

・分析

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
R3	目標は達成しています。計画的に初期消火用器具の更新を進め、軽量化等より扱い易い初期消火用器具の整備を図ります。
R4	目標は達成しています。計画的に初期消火用器具の更新を進め、軽量化等より扱い易い初期消火用器具の整備を図ります。令和4年度に器具の盗難が発生したため、町内全域の初期消火器具ボックスの総点検を行い盗難で不足した器具を充足します。
R5	目標は、達成しています。引き続き計画的に軽量化等より扱い易い初期消火用器具の整備を図ります。
R6	目標は、達成しています。引き続き計画的に軽量化等より扱い易い初期消火用器具の整備を図ります。
R7	目標を達成しました。

・評価及び対応方針

R3	引き続き消防体制の充実・強化を図ります。
R4	引き続き消防体制の充実・強化を図ります。
R5	引き続き消防体制の充実・強化を図ります。
R6	引き続き消防体制の充実・強化を図ります。
R7	目標を達成しました。 引き続き消防体制の充実・強化を図ります。